



1/20

暮らしに役立つ乾物ワークショップ (町提案型地域活性化事業)



乾物認定講師の成田奈苗さんを迎え、乾物教室が開催されました。2回目となる今回は、垂井町産の無農薬みかんやフェアトレードチョコレートを使用してお菓子作りをしました。果物を乾物にすることにより、美味しいだけではなくフードロスにもつながるため、参加者からは、「旬の果物や野菜をうまく使いこなすために乾物の知識が役に立つ講座だった」との声が聞かれました。

1/18

交通安全教室を開催



表佐こども園の4歳児が交通安全教室に参加しました。

園児たちは車と人の違いについてのクイズに挑戦しました。先生の意見を聞いたり、みんなで意見を共有して考えていく姿が多くありました。この活動を通して、楽しく交通安全について考えることができました。



職業インターンシップに参加した岐阜総合学園1年の小林零那辯(れなは)さんの取材から作成しています。

1/29

住民主体の防災訓練



住民主体の実践的な防災訓練が東小学校体育館で実施されました。

自然災害が発生したことを想定し、避難者の受付、パーテーション、ベッドを設置するなど感染症対策に配慮した避難所運営を実践しました。

また、救急救命訓練も行い、AEDの操作体験などを通じて心肺蘇生法への理解を深めました。

1/25

時雨庵俳句大会表彰式 (町提案型地域活性化事業)



「時雨庵俳句大会」は、平成30年、時雨庵の修復を機に、垂井町で俳句文化を広めようと始まりました。今年で4回目を迎えた本大会では、県内外162人から485句の応募がありました。表彰式では句展も行なわれ、来場者で賑わいました。

2/8

高齢者交通安全大学校閉校式



表佐地区の高齢者を対象に交通事故防止を目的に開校された「高齢者交通安全大学校」の閉校式が表佐地区まちづくりセンターで行われました。

出席した学生は、「自転車の乗り方教室」「ヒヤリ地図の作成」など1年間の取組を振り返りながら、町内で死亡事故が発生しなかった結果に、達成感を感じていました。閉校式終了後、「岐阜県警察音楽隊」による懐かしの歌謡曲などが演奏され、会場が熱気に包まれました。



小さな行動が 未来につながる ～今すぐできる 私のSDGs～

SDGsを知る

SDGsの「5つのP」は、持続可能な開発のキーワードとして掲げられ、目標となる17のゴールをより具体化(細分化)したものとなっています。

5つのPを知ることで、SDGsが目指す世界がもっと膨らんできます。

1つ目のPは「People(人間)」



※17のゴールのうち1から6までが該当します。

「しっかり食べる」「衛生的な環境で健康的に暮らす」「相互に尊重し平等に学ぶ」「きれいな水を飲む」など、誰もが人間らしく生きていく上で、基本的な部分となります。世界の人口は約75億人。そのうち約8億人の人々は、飢餓によりおなかいっぱい食べることができません。

「誰一人取り残さない」世界を、みんなで目指しましょう。

問 企画調整課 地域振興係 ☎22-1152

2/3

鬼に負けるな！



町内各こども園で、節分会が行われました。

先生から「今日は節分だね」と話を聞いていたところに、鬼たちが教室に入ってきた。突然現れた鬼たちにびっくりして泣きながら逃げ出す園児たちもいましたが、勇気を振り絞って、新聞紙で作った豆を「鬼は外！」と叫びながら投げると、園児たちの強さに負け鬼たちは退散しました。鬼が去ったあと、福の神からプレゼントが届き、園児たちの表情に笑顔が戻りました。

2/9

オンラインで学校交流



表佐、宮代、合原小学校6年生の児童がインターネットのオンライン会議システムを使用して交流しました。児童らは、画面越しの発表に少し緊張しながらも、学習してきた英語を使ってそれぞれの学校行事や思い出などを紹介し合いました。4月から同じ中学校に通う児童らは、交流を通して中学校での再会を待ちにしているようでした。

2/9

わたしたちが考えるまちづくり



不破中学校2年生の生徒らが、総合的な学習の時間を使ってまちの子育てや高齢福祉、観光、都市計画などをさまざまな視点から調べ、その成果を早野町長に報告しました。

早野町長は「グループごとによく研究されている。若い人たちの意見をぜひ取り入れていきたい」と生徒たちを称えました。